

SSRI

Give me a break !

ちょっと一言

米国はまだ武力行使ができる状態にはない

藤岡 智 和

北朝鮮の弾道弾発射や核実験の実施で大騒ぎになり米国の武力行使が取りざたされているが、米国は北朝鮮問題がこのような結果になることは金日成の時代から分かっており、解決には武力行使しかないと認識していたはずである。

しかし米国が北朝鮮に手出しできなかつたのは、北朝鮮がソウル市や軍事境界線の南に展開した米軍を射程に収めるロケット砲や長距離砲を 1,000 門以上配備し、1 時間に 1 万発以上、最初の 24～48 時間に 25 万発の砲弾、ロケット弾を撃ち込む能力があると見られていることにある。

このため米国は、有事の際に韓国から避難させなければならない米国と友好国の市民を 22 万人と想定し日本に避難する訓練を定期的を実施しており、昨年 11 月には米軍人家族を実際に避難させ訓練を実施している。

また、米軍が武力行使すれば当然北朝鮮は在日米軍基地を攻撃するであろうから、米軍は武力行使に先立ち予め主要基地に THAAD を配備する必要がある。米陸軍は現在 6 個中隊の THAAD を保有していると考えられ、そのうち 2 個中隊をグアムと韓国に配備しているので、予備に 1 個中隊を残しても 3 個中隊は展開できるはずである。

米軍の武力行使があるかないかの議論では日本海に空母 3 隻が入ったとか、B-1B が朝鮮半島上空を飛行したとか攻撃面だけが着目されているが、米国市民の疎開や米軍基地のミサイル防衛などの防衛体制が整わなければ、攻撃の実施はないと思う。

ただこれは安全保障関係者の常識で、常識を超越した指導者は何をしでかさか分からないのが心配である。(2017 年 11 月 10 日)